

平成 27 年 6 月 4 日

第 6 回

文京区立明化小学校

改築基本構想

検討委員会会議録

文京区立明化小学校改築基本構想検討委員会会議録

平成 27年 第6回

日時 平成 27年 6月 4日 (木) 午後 6時 30分

場所 文京区立明化小学校 図書室

| | | |
|---------------------|--------|-------|
| 「出席」 | 委員長 | 久住智治 |
| | 副委員長 | 竹田弘一 |
| | 委員 | 越川玲奈 |
| | 委員 | 辻本裕美恵 |
| | 委員 | 長谷川陽一 |
| | 委員 | 土屋謙 |
| | 委員 | 小宮繁雄 |
| | 委員 | 田中怙 |
| | 委員 | 岩瀬幸英 |
| | 委員 | 溝畑直樹 |
| | 委員 | 井上光広 |
| | 委員 | 辻杉子 |
| | 委員 | 澤井英樹 |
| | アドバイザー | 土田寛 |
| 「欠席」 | 委員 | 沼田英也 |
| | 委員 | 横山勝彦 |
| | 委員 | 梅山龍男 |
| | 委員 | 安田真也 |
| | 委員 | 中島一浩 |
| | 委員 | 植村洋司 |
| | 委員 | 竹越淳 |
| 「説明のために出席した教育推進部職員」 | 副参事 | 吉谷太一 |
| | 施設係長 | 木村健 |
| | 主事 | 藤田慎一 |
| | 主事 | 日向野貴司 |
| 「株式会社 マヌ都市建築研究所」 | | 板谷龍二郎 |
| | | 坂井遼 |

平成27年

第5回 文京区立明化小学校改築基本構想検討委員会

平成27年6月4日(木) 午後6時30分

場 所 文京区立明化小学校 図書室

次 第

開会

- 1 現地視察の報告について
- 2 前回までの検討内容の確認
- 3 校舎・体育館等の配置・仮校舎計画等イメージについて
- 4 その他

閉会

(18:30)

開会

○事務局吉谷 ただ今より第6回明化小学校改築基本構想検討委員会を始めさせていただきます。

まず、本日の委員の出欠状況の報告と配付資料のご確認をお願いいたします。

出欠状況につきましては、本日は、横山委員、安田委員、中島委員、植村委員、竹越委員、沼田委員の欠席のご連絡をいただいております。また、土屋委員は、30分ほど遅れるという連絡が入っております。あと、梅山委員が来られていませんが、またじきに来ると思います。

次に、資料の確認をさせていただきます。A3の【資料第14号】明化小学校における必要教室等について、A4ホチキス留めの【資料第15号】校舎・体育館の配置・仮校舎計画等イメージ、それから次第になります。資料はよろしいでしょうか。

また、第5回検討委員会の議事録につきましては、修正などがございましたら、本日の検討委員会の終了後、事務局までお伝えいただければと思います。

続きまして、年度が変わりまして、委員の変更がございましたので紹介させていただきます。お手元の文京区立明化小学校改築基本構想検討委員会委員の名簿をご覧ください。下線部分の委員が変更いたしました。変更があった委員のご紹介をさせていただきます。この4月から教育推進部長になった久住委員長です。

○久住委員長 久住でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局吉谷 次に、明化小学校PTA会長の越川委員です。

○越川委員 越川玲奈です。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局吉谷 明化幼稚園PTA会長の辻本委員です。

○辻本委員 辻本でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局吉谷 続きまして、林町町会長の小宮委員です。

○小宮委員 小宮でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局吉谷 明化小学校校長の溝畑委員です。

○溝畑委員 溝畑です。よろしくお願いいたします。

○事務局吉谷 続きまして、施設管理課長の澤井委員です。

○澤井委員 澤井でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局吉谷 本日は所要のため出席しておりませんが、教育改革課担当課長の中島委員、教育指導課長の植村委員、そして、安田委員につきましては組織名が変更となりまして、青少年対策大原地区委員会が、大原青少年健全育成会となりました。

それでは、まず文京区教育委員会教育推進部長である久住委員長よりごあいさつをさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○久住委員長 改めまして、みなさんこんばんは。こんばんはというよりは、日がこんなにたっていて、日がのびた感じがしますけれども、この4月に教育推進部長として異動してまいりました久住でございます。よろしくお願いいたします。

前職は子育て支援部長で、子育ての関係に関わっておりましたので、こちらの地域の自治会の皆さまとは当時いろいろと一緒に活動させていただいたところです。こちらの地域も地域の皆様のご協力によって、子供たちが非常に豊かな放課後や学校生活を送っているなというふうな前職の仕事を通じて感じたところです。

今回、「明化小学校改築基本構想」については第6回を数えるまでご協力いただきました。この間、

後ほど今回の議題にもなりますけれども、改築か改修かという議論も含めて、こういった視点で取り組んできた中央区さんの小学校、それから文京区の最近できた第六中学校等を実際にご覧いただく見学会の時間も取っていただき、ご協力をいただいたところです。

今回につきましては、そうした検討と、現地視察の感想等もいただきながら議論を進めていきたいと考えてございますので、ぜひ皆さまのご意見をたくさんいただきながら進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○事務局吉谷 では、これより進行は委員長よりお願いいたします。

○久住委員長 今回、先ほどご紹介させていただきましたけれども、新しく委員になられた方がいらっしゃいますので、改めて自己紹介をいただければと思います。それでは、突然で失礼いたしますが、辻本委員からよろしいですか。

○辻本委員 明化幼稚園の本年度 PTA 会長をしております、辻本と申します。よろしくお願いいたします。今回、明化幼稚園の文京区立幼稚園 PTA 連合会でも併せて会長をしておりますので、皆さまと関わる機会はいろいろ多いと思いますが、よろしくお願いいたします。

○久住委員長 では、越川委員、お願いいたします。

○越川委員 今年度、明化小学校の PTA 会長になりました越川玲奈です。私は明化小学校を卒業し、もう 25 年ほどになります。この委員会にはとても興味があるので、皆さまといろいろな協議ができたらいいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○久住委員長 よろしくお祈いします。それでは、溝畑委員お願いいたします。

○溝畑委員 明化小学校校長の溝畑でございます。前任の水野校長先生の後を受けて、4月1日に着任をいたしました。今 320 人をちょっと超える子供たちがおります。この子供たちのためでもありますし、また 10 年後、20 年後の子供たちのためでもありますので、ぜひ十分に検討していただいて、素晴らしい校舎をまたつくっていただければと思います。よろしくお願いいたします。

○久住委員長 では、澤井委員お願いいたします。

○澤井委員 改めまして、この4月から施設管理課長になりました澤井でございます。前任の鶴沼から引き継いで、今回からこの検討委員会に参加させていただいています。私どもの施設管理課では、新しい建物、建設工事の発注・工事監理等をやらせていただいています。皆さんからのご意見をいただきながら、新しい学校改修について携わってきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○久住委員長 よろしくお祈いします。それでは、小宮委員お願いいたします。

○小宮委員 前任の田上から4月に引き継ぎまして、林町町会の町会長を仰せ付かりました小宮でございます。私も明化小学校卒業でございまして、57年ぐらい前に卒業しましたので大変懐かしく思っています。廊下や階段などは昔のままで、ああ、いいなという感じがします。あとはだいぶ変わっていますので、イメージ的にはあまりないですけれども、部分によって非常に懐かしく思われるところがございます。懐かしく明化小学校に来させていただきました。よろしくお願いいたします。

○久住委員長 よろしくお祈いいたします。

1 現地視察の報告について

○久住委員長 それでは、本日の次第に沿いましてご検討をいただければと思っております。今回、今ごあいさつをいただきました委員の方々の方が代わりましたので、2 前回までの検討内容の確認のところで詳細について少しお話をさせていただきますけれども、これまで本日で6回を数える会議を重ねて

まいりました。

第1回から、建物そのものの構造的な部分の強度がどのくらいあるのかなどの議論をしました。また、3回の議論の中では、この校舎は昭和5年の校舎ということで、非常に趣があるということで、外観や内観、今、小宮委員からも出されていましたがアーチの天井などのイメージを継承して改築をしたかどうかということ、一部の部材については利活用したかどうかということ、ここは幼稚園を併設してございますので、幼稚園も一体として整備をしたかどうかという3回の議論でした。

4回するときには、改築ありきということではなくて、もう少し議論したほうがいいのではないかと、中央区を含めて、復興小学校といわれているような、小学校を改築したり改修をしたり、いろいろな手法で現在に至っている学校があるので、実際にそういうところを見ていき、子供たちにとってどうなのか、そして、地域の皆さんの心のより所としての学校であったり、記憶の中に生きている学校ということで、大事に地域化されている部分をどのように継承しているのか、やはり実際に見てきたほうがいいというご議論をいただきました。

そこで、後ほど詳細を報告させていただきますけれども、改築した学校として中央区立明正小学校、内装を改修した学校として港区立高輪台小学校の2つに実際行かせていただきました。それと、文京区で一番直近にできた第六中学校の中の見学の取り組みを行ってまいりました。

ただ、第1回の施設見学会については参加される方がちょっと少なかったもので、前回、長谷川委員からも、もう少し多くの方に直接ご覧いただいたほうが議論しやすいのではないかとご指摘もいただきました。それで、第2回の見学会ということで、皆さんが一度見てみたいということで、明正小学校のほうにもお忙しい中お時間をいただき、見学会をさせていただいて本日に至っているということでございます。

そういったことも含めて、現地の報告ということで、前回、資料第13号の2で、事例見学報告会のパワーポイントの写真を添えて、明正小学校と高輪台小学校の具体的な報告をいただいたところです。今回改めて委員の皆さまに見学をいただきましたので、そういったところの共通的な感想を若干いただいた上で議論を進めてまいりたいと思っております。

率直な感想というところで結構ですので、それほど長い時間ではなく、行って見てどうだったのかというご感想等を少しいただければと思います。第六中学校と明正小学校に行かれた辻本委員から、よろしいですか。

○辻本委員 私は4月から引き継ぎをしたので、明正小学校と第六中学校にそれぞれ1回ずつ初めて行きました。

両方の学校が一緒になっているのですけれども、まず、とても良かったところが何点かありました。明化小学校は、楽器が強いと聞いています。明正小学校は、音楽ルームの施設がちゃんとあって、学校の特色に合わせて強いところを大きく取っているのがいいなと思いました。第六中学は、すごく小さいという特色があるのかなと思いました。

あと、明正小学校は、幼稚園と保育園、児童館が付いているので、放課後預かりの部屋がとても広くて、廊下とコミュニティーのつながりというのが多いので、働くお母さん、保護者が多い中で放課後への施設が充実しているというのはとても良いと思ったところです。

あと、古いものの改築・改修で残す・残さないという議論がどこでも出てくる中で、第六中学校の玄関のところに、狭いですが昔の思い出コーナーみたいなものをつくってあって、そこに集約させておくというやり方は、卒業生などには好評なのではないかと思った次第です。

反対に、第六中学校では幼稚園は関係なかったので、明正小学校で気になった点が2つあります。ま

ず、正門が幼稚園と小学校が一緒であったというところです。普段は問題ないのでしょうけれども、緊急事態で全員避難のときに3歳児と12歳児が同じ門から出てくる際の安全性や、入口は小学校と幼稚園で完全に分かれているのですが、建物の中でつながっていて、脱走などはないとは小学校の方はおっしゃっていましたが、やはり緊急時、小学生と幼稚園生の線引きがもう少しあってもよいかと思いません。

私の年長の娘を預かってもらえる人が見つからなかったので、明正小学校には一緒に連れていったのですが、園庭が小学校と一緒に怖いと言って、遊び場のところに行けずにごく怖がっていたので、子供目線では園庭と校庭は別のほうがいいのかと思いました。

いいこととしては、明正小学校は図書館がとても充実していて、グループのディスカッションコーナー、読むところ、グループワークのほかに和室が付いていました。文京区は図書を強化していくというお話を聞いているので、本を読む環境が充実しているというのは、中央区の本好きな子にする取り組みとしていいなと思いました。以上です。

○久住委員長 ありがとうございます。第六中学校と明正小学校、2つ行かれた方、それぞれ1つ行かれた方もいらっしゃいますので、席順になりますけれども、辻委員お願いいたします。

○辻委員 私は、最初のところで明正小学校に行きまして、そのときもお話しさせていただいたのですが、今の辻本会長のお話とほとんど同じような印象を持ちました。

幼稚園としましては、子供たちにとって独立の園庭があったほうが遊びやすいしメリットがあるので、そこは別になるといいなということ、明正小学校を見て思いました。また、同じ建物であっても幼稚園と小学校のある程度の境があったほうが良いと思いました。

全体的に本当にとってもよく考えてつくられていて、昔の面影も残しながら近代的な設備になっておりまして、広々として、いい学校だなと思いました。

第六中学校もとてもきれいで、子供たちも気持ちよく勉強ができそうな、すてきな環境でした。

○久住委員長 ありがとうございます。それでは、引き続き井上委員お願いいたします。

○井上委員 私は、明正小学校に視察に行かせていただきました。やはりよく考えてつくられているなというのが第一印象でした。先ほど辻本委員がおっしゃったように、特に図書室を中心とした学習ステーションのような、学習の流れが、そこに行けば子供は自然に学習ができるというようなところを考えてつくられているというのは素晴らしいなという感想を持ちました。

もう一点は、ところどころ大変広いスペースが多いので、教育の立場からすると、そういうスペースは非常に活用がしやすいスペースであるということで、強く印象に残りました。以上です。

○久住委員長 ありがとうございます。それでは、溝畑委員お願いいたします。

○溝畑委員 第六中学校に行かせていただきました。近代的な建物ですが、中は本当に木がふんだんに使われていて、あえて居住性という言葉を使わせていただくならば、生徒にとっては非常に居心地のいい校舎なのだろうなと思いました。

中学校ですから、いろいろな生徒の状況に対応しなければいけないような部分もあって、そういった生徒の管理の部分、それから、生徒たちを守るいわゆるセキュリティーなども非常に充実していて、教員たちが子供たちを守るという意味では非常に考えられた施設だなと思いました。

あとは、いわゆる特別教室といわれている、普通の教室とは違う理科や家庭科などの特別な学習をする部屋も、子供たちに対するメッセージが非常に強いです。ここではこういう学習をしてくださいよ、というふうに部屋が子供たちにメッセージを発して、それはとても大事だと思います。今、井上副校長のほうからも話がありましたが、そこに行くと自然に子供たちがそういう学習をしたくなる、そう

いうお部屋が第六中学校には用意されていると思いました。ぜひ明化小学校にもつくってあげたいなという部屋でした。以上です。

○久住委員長 行政の委員は、もし何か後であればということにしまして、続いて、田中委員お願いいたします。

○田中委員 私も第六中学校と明正小学校を見学させていただきました。旧第六中学校・旧明正小学校の内部などは一切わかりませんので、どこがどうだったということは説明で受け止めるしかないと思いました。

共通部分として、ぜひ明化小学校にも取り入れていただきたいのが、第六中学校は7階にプールがございまして、明正小学校は6階屋上にプールがありました。特に、校庭がその分広く使えるので、というふうにおっしゃっていましたので、イメージにありますけれども、ぜひ明化小学校でも屋上にプールをつくっていただければ、校庭がこれ以上狭くならないだろうということが1点です。

それから、第六中学校のほうは可動式の屋根が付いていまして、直射日光を防いだり、開いたり閉じたりできる屋根でした。そこまではできないにしても、明正小学校のほうは、直射日光がそのまま当たるような形で、日の光を遮断する設備がなかったもので、もし屋上につくるのであれば、日影をつくるという一つの理由で、ぜひ効果的につくっていただいて、プールはとにかく屋上がいいだろうということ強く感じました。

それから、これは全く関係ないですが、第六中学校は低学年のほうは階上ということで、3年生が一番低い階で上が1年生で、何かあったときに年齢の低い方を先に、という部分があるのではないかとということを感じました。

あとは、明化の特徴である、全校生徒の3分の1が所属している器楽部は歴史がありますので、これからさらに発展・充実させていく意味で、器楽部関係の音楽準備室や演奏する場所などを充実した施設にさせていただいて、子どもは町会に携わっていますので、町会の地域の方々がそれぞれ発表会のように本当に参加できるような形の充実した器楽部室をぜひともつくっていただきたいと思えます。

もう1点は、私の息子も娘もこちらでお世話になっていますし、私もそうなのですが、もう半世紀以上たっていて、今はこちらにはおりませんが、この間、集まったときに子供たち2人に聞いたら、とても懐かしがっていました。木の構造やぬくもりに共通点が残っているのです。ですから、ぜひお願いしたいのは、廊下や校舎の中、階段はできれば木目調といいますか、一番いいのは木なのですが、できれば木で仕上げていただければなと強く感じて帰ってまいりました。以上です。

○久住委員長 ありがとうございます。土屋委員は遅れていらっしゃるもので、またいらしてからということで、では、長谷川委員お願いいたします。

○長谷川委員 私は明正小学校に2回行かせていただいて、初回のときもレポートを書かせていただいて、出させていただきますので、それを前々回、前回読ませていただきました。2回目に行ったときもやはり印象としては変わってはおりません。教育の現場と話を非常に密にされて、細かいところまで設計段階でやられていますし、本当に一般教室は広く、今の教育に見合ったようにつくられていて、非常にいいなと思いました。

先ほどから言われているように、幼稚園との一体で考えるということ、この検討委員会の中で当初はそれが表には出ていなかったのですが、やはり小学校をやるのだったら、幼稚園も一緒という考えが途中からなってきましたので、あと2回ということですが、時間的になかなか詰まらないのであれば、その部分は時間を延長して考えたほうがいいのではないかと思います。幼稚園に関する討論というのがちょっと不足しているように思うので、それは後ほどの議論で考えたいと思っています。私の感想はそ

れぐらいです。

○久住委員長 ありがとうございます。せっかくなので、行政から、澤井委員も見てきていただきましたので、お願いいたします。

○澤井委員 明正小学校の見学に参加させていただきました。私の立場的な感想から言わせていただくと、改築に当たっては、ほかの学校を利用できたということで、非常に合理的な校舎ができたのだらうと思いました。

この学校については、移転というのはなかなか難しいところもあり、やはり設計に当たっては、改築スケジュール等もうまく組み合わせていかなければいけないので、そういうところもどうしてもプランの中には入れていかなければいけないところに難しさがあるなと思いました。かといって、そこは絶対に逃れることはできないという部分については、一工夫も二工夫もしていかなければいけないのだらうなと思っています。

明正小学校につきましては、私は、普通教室の配置の中で学年2クラスでありながら、学年のユニットの間にもう1学年入れられるような多目的の部屋があり、さらにその向かい側のオープンスペースも活用すると、今後生徒数の変化に対しても非常にフレキシブルに対応できるというところで、いわゆる普通教室ユニットをしっかりとつくっています。学校の変化の大きいところにはそういうものを入れていかなければいけないと思いました。

それから、元の古い建物については、写真でちょっと拝見できたのですけれども、この敷地の外から見て多分曲面になっているのですけれども、小学校自体の外観をある程度イメージできるような、外観を伝えながら、だからといって、全く古い印象とも少し違う、ここにこういうものがあつたな、ということのを思い起こさせつつ、例えば校庭側から見ると全く違った印象があるというように、一見、印象を残しつつ、新しいものにしていったらな、というところを感じました。

○久住委員長 竹田委員お願いいたします。

○竹田委員 私のほうもせっかくの機会なので、今回、中央区の明正小学校を見させていただきました。私も澤井委員と感想は似ているのですが、子供の数が増えたり減ったりするということで、文京区は特にこのところ小学生の数が増えていて、我々は、別の学校などでも教室不足の対策などもいろいろと併せて考えているところです。中央区の明正小学校が、いつでも普通教室に転用できるところが幾つか整備されていきましたから、いざというときに大掛かりな対応をしなくても、子供の数の動きに対応できるというところが、学校施設を管理する側としては非常に使い勝手がいいなと思いました。

それから、明正小学校もそうですし、第六中学校もそうですが、新しくできた学校というのは、それぞれのところが廊下がとても広く取ってあって、ゆとりがすごくあるなというところが非常に感じたところです。災害時の関係のときなども考えますと、そういうスペースにゆとりがあれば、やはりメリットがあるのかなと強く思ったところではあります。

また、特に明正小学校、第六中学校もそうですけれども、それぞれ限られた敷地の中で上部空間などもうまく活用してつくっているところが非常にうらやましいなと思いました。明化小学校は、高さ制限というところがあるので、ほかの学校のように6階建て、7階建てというのは技術面としてなかなか厳しいところがあるのですけれども、そういう形で敷地を有効に使った施設の在り方というのはとても参考になったというのが率直な感想です。以上です。

○久住委員長 ありがとうございます。私は、この委員長なので、いろいろな議論、皆さんの意見を踏まえるのが仕事なので、1点だけ申し上げます。

明正小学校に行ったときに辻本さんのお子さんと一緒に回らせていただいて非常に楽しかったので

すが、「明るいね」というお子さんの声がありました。どういうふうにするにしても、ここは学校なので、使っていく子供たちが生き生きと日常の中で過ごす時間はとても多いと思います。地域の皆さんの思いもそうですし、それと同時に、子供たちはなかなかそれを言えないので、私たち大人が、使っていく子供たちの視点の代弁者になってあげるといことも必要なのかなという感想は持ちました。

「すごく明るくてすてき」という言葉がとても印象的で、そういう子供の発想や、使っていて生き生きできる環境をつくっていく必要が責務としてあるのかなと、改めて認識したところです。

休日や時間外にお集まりいただいて、いろいろ見ていただきまして本当にありがとうございました。これからの議論の中でそういった視点をどうするのか、ご発言の中で入れていただければありがたいと思います。

2 前回までの検討内容の確認

○久住委員長 それでは、次第に沿って、2 前回までの検討内容の確認を進めさせていただきますが、1 現地視察の報告のところでは何かご質問等があれば、お伺いします。よろしいですか。

また全体の議論が終わってから振り返りということもできるかと思しますので、先に進めさせていただきます。

前回までの検討内容の確認につきましては、冒頭、新しい委員の方もおいでになるということで、それぞれ議事録等々も含めて引き継いでいらっしゃると思いますが、3回、4回、5回の議論と見学会の趣旨・目的等々についても冒頭のごあいさつの中で少しお話をさせていただきました。結論をどういうことにするかということについては、皆さんのご意見を聞いた中で進めていく状況にあるのかなと思しますので、これまでの積み重ねてきた議論を大事にしつつ、本日、これから3 校舎・体育館の配置・仮設校舎計画等イメージについてで少し踏み込んだご検討をいただく中で皆さんのご意見もいただければと思っております。

それでは、3 校舎・体育館等の配置・仮校舎計画等イメージについてに進ませさせていただきます。前回までの中でこれから改築をするという形になったときに改築なのか改修なのかというところ……、ちょうど土屋委員がお見えになったので、ちょっとお待ちください。

○土屋委員 遅くなりました。

○久住委員長 お待ちしておりました。今、次第の3まで進んできているところで、初めての方もいらっしゃるのので、これまでどんな議論をしてきたのかということで簡単な振り返りをした上で、今回は違う学校をご覧いただく機会を設けさせていただきましたので、行かれた感想をそれぞれいただいたところです。土屋委員においても明正小学校にご参加いただいたので、来て早々申し訳ないのですが、一言、ご意見・ご感想をいただければありがたいなと思います。

○土屋委員 私は1度だけですけれども出席させていただきました、拝見してまいりました。置かれている条件が違うので単純に比較できないかなというところがありますが、施設自体は立派ですし、趣があって、いい建物だとは思いますが、ただ、この場所と違って、高さ制限などももちろん違いますし、面積自体もかなり広く取れている建物なので、確かに理想的ではあるのですが、同じようにつくれるかという、そういうわけではないと思います。また、工期の問題としては、明正小学校さんが別の学校に全部行って、丸々建て替えという形を取られているので、そういった面でも工事中の子供に対する負担というものは、住みながら建て替えるのとは全く違うのだらうなと思います。正直に言うと、いい施設ではあるのですが、どこまでそんなふうに行けるのかというのが正直なところです。

○久住委員長 来て早々にご発言いただきましてありがとうございました。確かにいろいろな部分では

ここの土地の状況と違いますけれども、やはりそれぞれの施設が大事にしてきたものといいたいでしょうか、そういうものは生かせる部分がたくさんあるのかなと思って見てきましたので、それぞれ対応したときに、改修・改築されたところで何を大事にして、何をその代わり切り捨てなければいけないのかというところを後で少し議論いただければと思っています。ありがとうございました。

3 校舎・体育館等の配置・仮校舎計画等のイメージについて

○久住委員長 それでは3 校舎・体育館等の配置・仮校舎計画等のイメージについて、に入ります。前回、少し具体的なイメージができる資料がないかということでご意見いただいてまいりました。今回ご用意した資料につきましては、これはあくまでイメージとして、校舎や体育館の配置、仮校舎等の計画になります。具体的に設計を行っていく場合については、基本的な設計を行った上で実施計画を行っていくということです。これからかなり詳細な検討が必要になってくるわけですが、そうはいつでも私なども建築の素人なので、どんな感じになるのかというのは、少しイメージとして共有ができて、その中で議論が深められればいかなということ、今日は資料をご用意いたしました。この資料に沿って事務局のほうから説明をさせていただきます。それでは、事務局から【資料第14号】について説明をお願いいたします。

○事務局藤田 それでは、【資料第14号】についてご説明させていただきます。【資料第14号】は、次の【資料第15号】校舎・体育館等の配置・仮校舎計画等イメージの検討の前提となるものでございます。今回、皆さまにご覧になっていただきたいのは、このA3の資料の一番左の部分です。「明化小学校・新校舎（案）」と書いてあるところです。

こちらにつきましては、今までの議論を踏まえまして、例えば1学年に1つ少人数授業などに使えるような部屋が欲しいということや、「普通教室」の上から2つめのところで6教室分、あるいは音楽関係を充実したほうがよいだろうということ、音楽教室を、「特別教室」は通常といいますか、普通教室の1.5教室分ということで整理をしているケースが多いのですが、2教室分取ったり、あるいは楽器庫も必要だろうということです。そして、例えば「その他」のところの下から2つ目の「ランチルーム兼多目的室」ということで、現状だと子供たちが集まる場所がないということですので、そういう2教室分の部屋を全体として約50教室ぐらいの規模の学校を整備した場合、改修の場合と改築の場合でどうなるかということ、これをこれから【資料第15号】で説明していきたいと思っています。

また、明化小学校の場合はクスノキがシンボルツリーということですので、取りあえず約50教室分、そして、シンボルツリーを残すということを前提にしております。

では、資料15号の説明に移りたいと思います。

○辻本委員 すみません。この50教室の中で幼稚園というのは別議論になるのですか。

○事務局藤田 幼稚園につきましては、今回資料というのはつくっておらずに、現状より少し広いということ、これを想定に今回の絵の中に落とし込んでいます。

○辻本委員 目安とかはありますか。

○事務局藤田 この中には入っていません。幼稚園はまた別の数字であるので、想定でつくりました。

○辻本委員 わかりました。

○久住委員長 今の説明のとおりで、数の話だったので、この見方なのですが、左に書いてある「普通教室」「特別教室」「その他」となっていて、現状8m×8mの64㎡が大体基本になっています。明化小学校の現状については、若干狭く、64㎡は取れていないのですが、64㎡が基本になっているということで、それを1単位ということ、これを計算しております。

ですから、普通教室については少人数教室等も含めて、12と6を足して、18を検討しています。今人口増があって、子供の数も増えていますので、18ということになると、6学年×3クラス分は取れるという形で検討しています。使っていない部分については、少人数の学習などということで柔軟に対応していただきます。最大まで子供が増えても、最低でも18クラス普通教室は取れるという計算になっています。

それから、先ほど事務局からもご説明申し上げましたように、特別教室も単位というのが8m×8mの64㎡を1単位として、教室を半分にしたときに、準備室にすると大体0.5になり、2という場合には、教室が2つ分になります。それから、給食室などについては3となっていますので、子供たちが多くなって、給食も今バイキング形式など、いろいろ充実しているもので、そういうことも含めて教室3つ分を想定しているというふうにご覧いただければと思っています。

それから、辻本委員からご指摘があったように、幼稚園部分についてはこれからということになりますけれども、基本的には今の部分、それから、将来的には認定こども園をどうするかということを考えることが計画上なっていますので、幼稚園と保育園の両方の長所を生かした施設をつくるかどうかというところも今後議論していかなければいけません。長谷川委員から先ほどご指摘があったように、幼稚園部分についてはもう少し検討する必要があるかといったところも含めて、そういうイメージは共有していく必要があると思います。

見方については、こういう形でご覧いただければということです。

○土田アドバイザー よろしいですか。

○久住委員長 はい。

○土田アドバイザー コマ数といっているのは、解説は特に要らないですか。単位とおっしゃった1が、8m×8mの64㎡で、コマ数はその掛けたものでいいですよ。先ほど見学会の感想の中でゆとりのあるスペースや廊下が広いということでしたが、廊下・階段の部分はこれには入ってないですね。

○久住委員長 そうですね。

○土田アドバイザー ですから、そこが今、例えばレントブル比で何%ぐらいを想定しているのかということも併せて言っていただくと、【資料第15号】の資料の建築床部分の想定がしやすいかなと思います。

○久住委員長 今、次の資料を見るときに非常に大事な視点についてのご指摘を土田アドバイザーからいただいたので、ちょっとご説明いただけますでしょうか。ぜひ素人にわかりやすくお願いします。

○マヌ都市建築研究所坂谷 説明させていただきます。お手元のA4判【資料第15号】について説明させていただきます。前提条件ですが、前回の委員会で改修および改築の案をそれぞれ考えてほしいという意見を受けて、それに基づいて検討しております。

前提条件としては、体育館を工区の中で建て替えたいというお話、幼稚園と一緒に建て替えたほうがいいのではないかというお話、学校の必要機能は満たしたほうがいいのではないかというお話、それから先ほどありましたようにクスノキは残すべきだと、このようなことを前提条件といたしました。

それで、いろいろなプランというのが考えられるのですが、それをたくさん出すとわかりにくくなりますので、取りあえずは体育館を一時的にどこかほかの場所で使うのではなくて、建て替えたものができた時点で常時使えるようにするという話、それから、いろいろなプランをつくるよりもわかりやすく絞ったほうがいいということで、取りあえず2つの案に絞らせてもらっています。

それで、前提条件がもう一つありまして、これが全体の敷地でございまして、今の建物は、建て替えてこういう大きなものを大規模修繕や増築した場合に、現行法に適用する必要があります。建築

基準法は、建てるときにはそれに従う法律ですけれども、建った後は遡及適用はなく、そのまま建った状態で使ってもらえます。ただ、大規模な修繕をする場合、それから、ほかのものを建て替える場合は、併せて法規に適用するということが今行われていまして、それで、今の建物はちょっと問題があります。

1つは、道路制限があることです。それから、日影規制がございまして、日影規制は、昭和51年に制定されまして、そのことで言いますと、5m・10m、これは5m、これは10m内ですが、5mでいきますと、この部分がこれだけ出ます。10mラインでいきますと、この部分が現行法上は超えた部分というふうになります。それを基準にしますと、3階建てが建つのはここまで、4階建てはここまでになります。それで、今回の検討では現行法規に適用ということ念頭に置いて考えてございます。

それでは、一番上でございますが、これは改修イメージということでつくりました。これは、なるべく現況の建物を残して、それで新たな機能を付け加えたいという話で、この辺は増築したほうがいいのではないかとということで、描いてございます。

それから体育館は今のものを使ったまま建て替えようとする、この位置しかございませんで、体育館ができて、後に教室を建てるということです。また、今コマ数に関して出ましたけれども、それを50にすると、1.25倍必要でして、ここにあった教室部分を含めて、そのボリュームが必要になります。それで、幼稚園は南側に出ていますので、園庭がちょっと変なところにありますけれども、今の横のところになっています。

それで、普通教室は3階、南側部分を使っていますけれども、この日当たりのいい部分を普通教室にして、北側部分の既存の校舎は、特別教室として使ったほうがいいのではないかとことです。廊下をそのまま使ってもよろしいのですが、南側の廊下にするのも、ちょっと柱は残しますが、拡張することができます。

それから、残すには、新しく建てた部分と、残す部分はまた将来的な建て替えも必要になるので、一応、工事上の問題等も含めて中庭を取っております。

工事手順は、体育館を使ったままの工事ということなので、この3階、4階の部分を解体しまして、その解体に当たっては、この部分に対応する仮校舎を校庭に建てて、解体を行って、体育館とプールをつくります。

それで体育館を解体するのと、既存の教室でございまして、皆さん、今の内装は変えたほうがよろしいのではないかとということで、使える部分はなるべく残るようにして、内装を変えて、部分的に解体します。それから、PTAの建物や現行法に抵触する部分は減築するということで考えています。

仮校舎の増築部分が出てから改築と改修を行います。この場合は、もう仮校舎を使っていますので、北側からの工事になります。それで、図のような形で完成して、仮校舎を壊して、このようにつりあい50m走ができるようなグラウンドになっています。仮校舎設置からグラウンドの整備まで、およそでございまして、47カ月ぐらいだろうと判断しています。

次に、改築した場合ですが、改築は、以前、意見が出ましたけれども、なるべく大切に使われているイメージ、それから、階段等で使われているところは中に残して改築を行うという主旨でございまして、この部分は、全く新しく建て替えるということになります。それで、形はいろいろございまして、幼稚園は、この部分の1~2階を使いまして、この園庭を使って、北西側から入る形です。

また、先ほどと同じように、屋上プールの体育館をつくるということで描いてございます。

それで、これも同じように体育館を使いながら行うということで、グラウンドに仮校舎を建て、増築部分を解体し、体育館を改築します。この改築工事ができた段階で旧体育館を含めて全体の解体工事に入ります。仮校舎を増築し、北側から解体および改築工事をやります。それで、校舎を完成したら、仮

校舎を解体して、改修イメージ案と同じように 50m走ができるグラウンドをつくっています。

こちらは、改修よりも一気に建て替えができるということで、工期は若干5ヶ月ぐらい短くなったということでございます。

それから、コストですが、わからないところもあるのですが、改修の場合は非常に解体に手間がかかるということで、解体は高くなっています。改築の場合はゼネコンにヒアリングしてみますと、最近の仕様は、恐らくはかなりグレードが高いということで、一応、㎡単価 40 万ぐらいに設定してみました。それから、内部改修は、構造はそのまま使うので、35 万ぐらいというふうに設定し、34 億ぐらいが総工費となります。改築の場合、これは㎡単価 40 万ぐらいかかるので、36 億 8,000 万ぐらいと考えています。

これはあくまでも全体の配置、ボリュームで見積もったものなので、このようなプランでできるのではないかというような想定でございます。詳細な設計は、今後の設計によりますけれども、この場合を考えると、こういった2つのプランが考えられるのではないかというところですよ。以上です。

○久住委員長 ありがとうございます。遠くの方は若干見えにくかったと思いますが、お手元の資料の第 15 号にパワーポイントの資料を印刷してございますので、ざっと振り返ります。1 枚目が、今の校舎については、今の躯体の関係があるので、斜めのところは取り壊さなければならないというご説明をいただきました。

次をめくっていただくと、改修イメージというのが出てまいります。これについては今ご説明があったところですが、既存の校舎の黄色いところに加えて、茶色いところを増築していくという形と体育館・屋上プールということで、先ほど田中委員のほうからも屋上にプールがあるのはとてもいいということがありました。ただ、2 ページの黄色い部分については耐用年数が 30 年程度ということで、また 30 年後に改築が必要になるということが一つポイントになるかと思えます。

しばらくおめくりいただいて、次のカラーページが改築のイメージです。これについては今ご説明があったとおり、日影等々を含めて、今の意匠を残しつつ、こういったところで改築していきます。廊下のアーチの部分や階段の意匠を残しつつ、新たな学校としてつくっていくということです。

建築のスケジュール、経費は前後することもあるでしょうし、30 年後にもう一回改築をするということで、60 年ぐらいを考えたときにどちらがいいかというのはまた議論があります。経費のところについてはちょっと横に置きつつも、これは本当にまだまだイメージなので、詳細は詰めていく形になりますけれども、改修、今の校舎を残す形になると 47 カ月、改築、新しくつくる形になると 42 カ月ということで、工期としては約半年の違いが出てくるということです。このようなイメージを持っていただきながら、次の議論の参考にさせていただきたいということで資料をご用意させていただいたところです。

これについてご質問の時間を少し取りたいと思いますが、ご質問等があればお願いいたします。

○辻本委員 すみません。

○久住委員長 どうぞ。

○辻本委員 幼稚園絡みで4点質問させていただいてもいいですか。1 目、改修のときのイメージ図が2 ページになりますが、このとき園庭が今の自転車置き場を想定されていると思います。現在の園庭に対してどれぐらい狭くなりますか。

○マヌ都市建築研究所板谷 これはちょっと狭いです。もうちょっと考えなければいけないなというぐらいの狭さです。建物への入り方をもう少し考えればどうにかできるのではないかと思います、ちょっと狭い感じですよ。

○辻本委員 それに絡んで、塀とすごく挟まるので、それは困ります。

- マヌ都市建築研究所板谷 それはまた一つありまして、西に接する道路は6mないので、このままセットバックする必要があるのです。ですから、そのときに段差というのは解消できます。
- 辻本委員 それは改修のときそれに合わせてということですね。改築のときも、この改築イメージでの園庭のイメージというのは、これに現行の園庭に対して広さはどれぐらいのイメージになりますか。
- マヌ都市建築研究所板谷 これは現状に近いです。
- 辻本委員 2点目で、幼稚園のプールの記載がなかったのですけれども、これは小学校のプールと一緒に、もしくは2階ですか。
- マヌ都市建築研究所板谷 ええ、そうです。幼稚園部分は2階までなので、屋上が使えます。
- 久住委員長 幼稚園、保育園も今そうなのですが、ほとんど組み立て式の大きなプールを使っているので、夏場についてはそういったものを組み立てて、床置き式というのでしょうか、地面に置いて使うというのが今は主流になっています。
- 辻本委員 園庭にプールを置いて使うのですか？
- 久住委員長 園庭に置くこともできるかと思います。あとは、この茶色い部分をどのぐらいずらすかというところでまだまだ検討できるのかなと思います。
- 辻本委員 最後に、解体中、幼稚園はどのタイミングで、仮設校舎に入るのですか。幼稚園の園庭に仮設校舎を建てるのでしょうか。
- マヌ都市建築研究所板谷 改築・改修とも、今の幼稚園はこのまま使えるようになります。
- 辻本委員 わかりました。ありがとうございます。
- 久住委員長 ありがとうございます。その他でご質問があればお願いします。土屋委員、どうぞ。
- 土屋委員 改修と改築のイメージをお出しいただいたのですが、このプランで、【資料第14号】で提示されている必要諸室等の面積というのはできる前提なのでしょうか。
- マヌ都市建築研究所板谷 はい、50コマは取れるように考えております。
- 土屋委員 あと、グラウンド自体の広さというのは今と比べていかがでしょうか。
- マヌ都市建築研究所 ほぼ同じような広さは取れると思います。改修のほうは中庭の取り方によるのですけれども少しだけ狭くなります。
- 久住委員長 そのほか何かありますでしょうか。今ここでちょっと話をしていたのは、たまたま前職、企画にいて、元町小学校の改築でいろいろどうするかという検討をしていたときがあって、例えばこういった給排水管等がむき出しでどうしても入っているのですけれども、こういう意匠を残したままという形になると、給排水管や電気の管などをどこかにしまわなければならないだろうというのがあるので、そういうものを具体的に残した形になると、床を這わすような形にするのでしょうか。
- マヌ都市建築研究所板谷 このプランで考えていますのは、南側に増築、今ワンルームだけですがこちらに行って、配管関係はこちらに移したほうがよろしいのではないかと考えています。
- 土田アドバイザー 設備系を増築側に移すのはあると思います。
- マヌ都市建築研究所板谷 アーチがそのまま見えるというものができるのではないかなと。
- 久住委員長 最初のところだと、黄色と茶色の間のオレンジのところがそういった設備系のものということで、ここは子供たちが使うスペースではないのですね。
- マヌ都市建築研究所板谷 そうではなくて、天井内で納めて、子供たちはその下を使えるようにできるのではないかと思います。
- 久住委員長 そのほか何か具体的なイメージの中でご質問があればどうぞ。土屋委員、どうぞ。
- 土屋委員 増築の部分と改築の部分というので、このつなぎ目というのは、上から下まで全部つな

っている感じですか、それとも渡り廊下的な感じですか。

○マヌ都市建築研究所板谷 オレンジ色はつながっている部分で、下の普通教室との間というのは、階段や渡り廊下になっています。

○土屋委員 気になっていたのは、今の明化小学校の体育館のところなども増築で古い校舎とつながっていて、継ぎ目というのが、やはり震災のときにだいぶ上でひびが入っている感じになっていて、増築すると、揺れ方が違いますよね。

○マヌ都市建築研究所板谷 そうですね。揺れ方が違うので離れたほうがよろしいのではないかと考えて、今の改修プランでは考慮しました。

○土屋委員 そのあたりの安全性は考慮したと。

○マヌ都市建築研究所板谷 そのつなぎ目のところは、おっしゃるように何か問題が起きやすいので、エキスパンションをうまくとる必要があります。

○越川委員 改修の部分の黄色の部分というのは、ここだと職員室ですか、階段の部分ですか。

○マヌ都市建築研究所板谷 階段の部分の、先は減築しますが、階段からこちらは残します。

○越川委員 先生たちの更衣室みたいところはなくなるのですね。

○マヌ都市建築研究所板谷 そうかもしれません。なので、中についてはいろいろと組み換えて考えていただかなくてはいけないわけです。今と使い方はかなり変わると思います。

○越川委員 今こうやって配管が出ていて、見えていますが、この配線が見えなくなるということですか？

○マヌ都市建築研究所板谷 見えなくしたほうがよろしいのではないかと考えて増築側をと考えています。

○越川委員 でも、電気は見えますよね。

○事務局藤田 先ほど天井に入れるなどという話があったのですが、あそこはアーチなので、天井内でどういった形で電気が通るとい形になるのでしょうか。

○マヌ都市建築研究所板谷 いろいろとそれは可能だと思います。

○事務局藤田 では、少なくとも現状のように這わせなくても、どこかで線を確保するとかそういうことで対応は可能ということですね。

○澤井委員 意匠性を残した中で、例えばそういう配管設備を収める工夫をするのは可能だと思います。今のこういうむき出しのままではなくて、すっきり収まる形というのは、工夫の余地は十分あると思います。

○辻本委員 すみません、もう一点いいですか。

○久住委員長 どうぞ、辻本委員お願いします。

○辻本委員 小学校の正門の位置は現状と変わりませんか。

○マヌ都市建築研究所板谷 正門の場所は、なるべく今の状態を改築も改修も合わせて残したほうがいいのではないかと考えています。

○辻本委員 幼稚園の出入り口はどこを想定していますか。

○マヌ都市建築研究所板谷 それは、図の左に描いてあるところです。

○辻本委員 今、「門」と書いてある左側の、現状の幼稚園のところですか。

○マヌ都市建築研究所板谷 いや、違います。左上の角のところですか。また、改修、改築とも同様です。

○事務局藤田 資料とは違うのですが、緑色の線がスライドの左側にありますが、その場所です。

○辻本委員 わかりました。ありがとうございます。

○辻委員 すみません。

○久住委員長 辻委員、どうぞ。

○辻委員 先ほど幼稚園のプールの話が出たのですけれども、現在、プールは組み立て式のものを屋上に2台出しており、相当広さを使っております。もしそれを園庭に出すとなると、園庭がすべてつぶれてしまうのではないかと思うのです。改築イメージの図の出っ張っている部分に幼稚園1～2階と書いてあるのですけれども、この上の部分というのは、小学校の教室が載るのですか。

○マヌ都市建築研究所板谷 いいえ、出っ張っている部分は使えます。

○久住委員長 2階までなので、屋上が使えるのです。

○辻委員 では、屋上ということで、ここにプールが設置できるということですね。わかりました。

○久住委員長 そのほか何かイメージということなので、その中でもこんな感じが案としてはあるということがあればお願いいたします。

○長谷川委員 はい。

○久住委員長 長谷川委員、どうぞ。

○長谷川委員 いろいろ絞っていただいて、事前にいろいろなプランがあったと思うのですが、改修の場合はこのイメージ図となっていますが、これはちょっとどうも不格好というか、どうなのかなと正直には思うので、将来の改築を考えると、こうせざるを得ないということで、それはそれで必要なことだろうと思いますけれども、ほかにもうちょっとスマートに改修するプランは何か妙案はないのでしょうか。それを考えるときは、当然幼稚園のことをもう少し詰めて考えていったほうがいいと思いますし、将来のこども園という構想の中でもっと踏み込んでというか、詳しく考えていかなければいけないと思うので、将来的にその部分によってかなり全体の建物の延べ床面積や配置等が変わってくるのではないかと思います。これはこれで非常にご苦労されたのではないかと思います。

○久住委員長 前提条件として、先ほどこの前の【資料第14号】でご説明したように、いずれにしても今の校舎だけだとどうしても教室数のコマ数が足りなくなるので、どこかに増築をしなければ子供たちの教育環境が確保できないという大前提があります。復興小学校などを他の用途に転用している十思スクエアなどは増築してないので、そのままのところをそのまま使っていて、例えばこの改修イメージのオレンジの部分や茶色の部分はなくて済むのです。しかし、今回は必要数ということがあり、ここの部分をどこにつくっていくのかということになると、採光の関係も出てくるということがあるので、どうしてもこういう形で、先ほど土屋委員からご指摘されたようなエキスパンションでつないでいくような構図が、いずれにせよどこかに出てくるという形にならざるを得ないということでしょうか。

高層の建物ができるのであれば、もっといろいろ工夫はできるのでしょうかけれども、住宅地の中にあって、高層化ということについては限界もあるということになると、広くする部分についてはどこか増築をしてつないでいくこととなります。

○長谷川委員 おっしゃるとおりで、増築は当然必要だと思いますけれども、この改修イメージのこれだけではないのではないかということです。

○久住委員長 そうですね。それはおっしゃるとおりです。

○長谷川委員 ですから、増築するなど言っているのではなく、ただ、いろいろなプランというのが考えられるのではないかということです。我々素人が迷ってしまうので、絞ってこれを出しましたということなのですが、これはあまり素人が見ても、ちょっと、というふうには私は思うのです。我々がいろいろ考えてやってくれたのだというふうには多分後世に受け止めてもらえないのではないかと思うのです。

○事務局藤田 事務局から1点補足させていただきますと、パターンの細かい点はいろいろあるかと思えます。ただ、例えば今幼稚園があるところに校舎を建てた場合、3ページ目のカラーのところには方位が載ってないのですが、方位を見ていただくと、幼稚園のほうから太陽が当たることになるのです。ですから、幼稚園のところに校舎を建てると校庭が日影になってしまうので、我々も検討していく中でそれは難しいだろうということになりました。そういったものも含めれば、いろいろなパターンがあるのですが、校庭が日影になることは避けたほうがいいたろうということです。そうすると、これはあくまでもイメージ図でもあるのですけれども、先ほど言ったように、仮に工事中、体育館をずっと使うことが必要だということを考えた場合、基本的なパターンというのは、今の逆L字というか、どうしてもこれぐらいしかないというか、そういう側面はあります。

○長谷川委員 行政のほうでいろいろと検討していただいた結果だと思えますけれども、一般的なプランとしてこういうものがありますというのを聞く機会というのは設けていただいたのでしょうか。

○事務局藤田 今我々が入っているマヌ都市建築研究所さんのほうでどういうプランか検討していただきました。ただ、どうしても使いながらというのもあって、日影の問題、体育館の問題というのがあると、多くのパターンが出せるかというのと、なかなか厳しいところもあります。

○久住委員長 ただ、長谷川委員にご指摘いただいたように、幾つかのパターンが考えられることはあるかなと思います。土田アドバイザーのほうから少しその辺の観点でご発言いただいてよろしいですか。

○土田アドバイザー 長谷川委員のご指摘にもあるように、確かにいろいろなパターンが想定されると思います。特に幼稚園のことが気になるのは、【資料第14号】のほうにも全く数字がないままに現状スライドで今入っていますので、実はアプローチの問題や園庭の問題、何よりも幼稚園がそのままであるのかというような問題など、条件自体が詰めきれてない部分もあろうかと思えます。そういう意味でも非常にいろいろなバリエーションが考えられるとは思っています。

ただ、客観的になりますが、先ほどのレントブル比で言うと50%ぐらいですので、50コマで64㎡を1ユニットで考えると、おおむね3,200㎡ぐらいのものですが、今大体この建物ボリュームで6,500㎡ぐらいの想定でしつらえられていますので、今のこの建物の廊下等の余裕空間や、見学で見ていただいた多目的に利用できるスペースみたいなものを想定すると、多分かなりゆとりある共用部を持った形でプランを想定していただいているかなという気はします。

それと、これもちょっとテクニカルになって恐縮ですが、まさに工事という非常に危険な状態がどれぐらい校地内で展開するのかというのが、改修にしる、改築にしる、結構大きな議論になってくる中で、実は心配をしていたのですけれども、仮校舎の建設ないしはそこに対する工事車両の動線等を考慮したときに、意外とこの盲腸のような東側の門の通路が比較的うまく機能するとか、北側のある公道部分からのアプローチが意外と幅があるので、切り替えながらうまくやると、というようなところもあります。

ストレートに申し上げると、確かに工事期間は四十数カ月になるので長いですし、お子さんの環境は確かにいつときかなり落ちますけれども、安全性も踏まえると、ぎりぎりの建て替えのパターンではないなという感じはします。

ですから、一時的な案としては、今のかつかつのモデルプランで検討しておらず、かつ、テクニカルな話で、建て替えの玉突きで校舎を順番に、子供の安全も快適性も一定程度維持しながら解いていくパズルとしては、今現在の案はそれほど無理をしていないという意味では、どちらの案も非常に評価できるかなという気はしています。

ただ、皆さんも気になっているように、例えば改修のつくりや内装の問題、設備の問題、もっと言う

と、ディテールの問題については、これからもっといろいろな議論の場の中で詰めていけるような気がします。大枠としては、このどちらでいくかというあたりの長所・短所みたいなものについて意見交換していただければなと思いました。

○久住委員長 長谷川委員からご指摘をいただいた、改修のイメージのときの幾つかのパターンが載っていたのではないかとご指摘はそのとおりだと思います。今日は改修のイメージと改築のイメージで、これからの議論の参考にさせていただくことであくまでもイメージをお示ししていますけれども、長谷川委員からご指摘があったような形で、この委員会の中でもう少しイメージを共有しつつ、建設的な議論ができるための事務局がご用意させていただく資料というものであれば、土田アドバイザーのほうから、どんなものを提示して、どういうご意見を皆さんからいただいたほうが前に進むのかということのアドバイスを少しいただければ、私たちとしては、次回進めていく上で非常にありがたいという感じです。

いいものをつくりたいということで皆さんにお集まりいただいて、我々も子供たちのためにも地域のためにもいいものをつくりたいという思いは一緒ですので、いろいろご意見をいただく中で一つにまとまるような形で、資料としてはこれにプラスアルファで何を出してお示しをして、どういった議論をいただくのが一番いいのかなというところです。焦って、周期を決めてあと何回というふうには思いません。そこはちょっと誤解のないようにしていただければと思いますし、議論を重ねていくことについては大事なことだと思っております。ただ、皆さんにはお忙しい中でお集まりいただいておりますので、有効な議論をするためにどのようなものがあつたほうがいいのかというのは、少しアドバイスいただければありがたいと思います。

○澤井委員 ちょっとだけいいですか。

○久住委員長 はい。

○澤井委員 今、事務局からのご説明について少しわかりにくいなといったことで長谷川委員がおっしゃったところがあつたと思いますけれども、例えば校庭に対する日当たりを考慮するところということになるとか、ここで日影の規制があるから、どうしてもここにはあまり高い物はつけれないなどという部分について、そのようにしたら、校庭に影が出てしまうのであまり良くないというようなこと、この部分についてはどうしても大きくしようとしても難しい部分なのだという事など、なぜこのようになったかというところが、採用しなかった理由を含めてあると思います。

○長谷川委員 それはわかりますが、将来、幼稚園とこども園をこの中に入れ込むということが方針として決まっているのかどうかということをはっきりしていない中で、明化小学校の教室のコマ数だけを考えても意味がないのではないかとこのことを言いたいのです。

まず本質的な話としては、小学校の改築検討委員会ではなくて、明化幼稚園・明化小学校改築検討委員会という形にし直さないといけないのではないかとこのことです。将来その気が文京区になく、こども園はつくりませんというのであれば、それはいいのです。ただ、やはり現場の先生方等、こども園と幼稚園は全く性質が違うものなので、職員の数や必要な教室が全く変わってくるわけです。だから、そこら辺は、今はまだちょっと不十分という気がするのです。

○久住委員長 幼稚園の方向性については、29年以降に認定こども園化を目指すということぐらいしか書いてないので、それについては、ここでどうするかということについて方針をお示しする中で必要コマ数というものをお示していく必要があるとは思っています。ですから、そのとおりだと思います。

○土田アドバイザー 現状では幼稚園で基本計画はつくるという整理でよろしいのですか。今のご指摘の点について言うと、こども園化を目指すということであれば、この計画の中でこども園を前提として

織り込むのかそうでないのかというのは、今、区さんとしてはご決断ができないのですか。

○久住委員長 そうですね。ただ、長谷川委員からご指摘があったのはそのとおりで、こども園にするとなると、職員室や部屋の数などは違ってきますので、そういったことをどうするかということはあると思います。ただ、こういう大きな改築をするときでないと、なかなか今の幼稚園は小さいところが多くて、この方針は採り得ない状況もあります。時代のニーズに沿って、その良さを両方生かした部分ということであれば、一つのきっかけによってそのいい機会にはなるだろうと思っています。そこはもう少し区の方針を明確にお示しする中でご検討いただくという形かと思いますが、かなり重要なご指摘だと思います。ありがとうございます。

それで、先ほどの話に戻るのですが、先ほど澤井委員から言われた部分で、資料として何かプラスそういったものを検討する議論の素材として、このような形で日影を考えているとかということでしたが、いかがでしょうか。

○澤井委員 事務局から、こういう理由でこういうふうな、やはりどうしてもこういう形になっていくのですというお話が、長谷川委員は十分お分かりというお話がありましたけれども、要は、そういういろいろなパターンの中で、これをやるとこういうところが良くないというのがあった上でこれになったというところは、いろいろな方に理解していただいた上でこれになったというところはあったほうがいいと思います。口で説明されただけでは、もしかしたらよくわからないと思っていらっしゃる方もいらっしゃるかもしれないので、そこは、どうしてこちら側に配置するのが一番いいと判断したかというのは、絵的に表現したほうがいいのではないかとということです。

○久住委員長 わかりました。

○土田アドバイザー 関連しますが、前提条件ということで先ほど口頭でお話しになった部分で、手元資料とパワーポイントの中で幾つか、工事車両の動線などの部分で若干過不足があります。先ほど事務局のほうでもお話しになられた校庭に対する日影の問題、あとは、見学の中でもご指摘いただいていた、幼稚園と小学校の動線を分けたほうがいいというようなことなども含めてご検討された経緯が、変な言い方ですが散見されました。従って、プログラムの条件として、こういうふうな考えについてはこう詰めましたというような見取り図みたいなものがまず一つあると、皆さまの理解がもう少し深まるのかなというのが澤井委員のご意見かと思います。

それでもう一点、かなり厳しい高さ制限がかかっているというところが前面に出てきています。これはどうにもならないと言うと語弊がありますが、どうにもならない条件の一端だと思っています。改修にせよ改築にせよ、若干わがままを申し上げますと、これは CAD で描かれていると思うので、例えば 3D で立ち上げていただいて、仮にこの改修・改築を A 案・B 案としたときに、現状の A 案・B 案をアイソメ的にでも立ち上げて、例えば南からと東からでもよろしいですし、そういうものを示していただくと、ボリューム感もわかりますし、皆さんももうちょっとわかりやすいかなと思うところはあります。

これはもう一点、改修と改築ということで整理して、今は色違いになっていますけれども、先ほどから、OB・OGの方々の思いを伝えていただいているように、この黄色い部分が、ちょっと変形はしますけれども、比較的現状のまま残るというイメージなども、立ち上げたものに若干加えられるといいなと思います。

ただ、あまり過度な要求をしますと作業だけが増えてしまいますが、今、色別になっているものももう少し視覚化していただくと、どのように変わるということがわかると思います。

ただ、改修のほうは難しいですね。というのはボリュームだけなので、外観のイメージが全くないものですから、たればの世界になってしまいますけれども、もう少し視覚的にわかる資料があるとい

いかなというところですか。

○久住委員長 改修ということであれば、これまで議論いただいたように、意匠を配慮した形になるのでしょうか。

○土田アドバイザー ええ。前回のご議論ですと、外観はどうでもいいという過激なご意見もありましたので、それでいくと、皆さんが大事にされている思い出も含めたデザインモチーフみたいなものを、この委員会なのか、プラスアルファのワーキングみたいな形で少し抽出といいますか、引っ張り出さないと、第六中学校とか明正小学校のようなデザインモチーフのイメージの継承というような形での新しい再デザインみたいなものはなかなかできないかなというところを危惧しているところではあります。

○久住委員長 改修のときはきっとこういったイメージが残っていく形になるので、非常にイメージしやすいと言ったら難しい部分もあるのかもしれませんが、改築といったときに今までご意見をいただいたように、この雰囲気を残したい、後世に伝えていきたいという、記憶のイメージを残していただくのかもしれないですけども、そのときに何が一番大事なのかということで、土田アドバイザーが言われたように、以前の議事録をお読みいただければわかるように、外よりも中の階段の雰囲気や廊下のアーチのイメージなどが非常に大事なポイントになるのではないかとのご議論もいただいています。

ですから、どこの何を残していくのかというところがないと、イメージといっても、皆さんのイメージが非常に違うという形になります。

○溝畑委員 よろしいですか。

○久住委員長 はい、どうぞ。

○溝畑委員 改修・改築は、いずれにしても、申し訳ないのですが、これは大人の都合でこういう形になっているので、その間、子供たちには非常に不便をかけることになります。ですから、校長としては、一刻も早く工事を終わらせて、新しい校舎に子供たちを入れて、その恩恵にあずからせたいと思うのです。ですから、工期をなるべく短くしていただきたいというのが学校長としての願いです。大人の都合と言ってはあれですが、子供たちのダメージをなるべく少なくさせたいというのが願うところなので、ぜひお考えいただければありがたいと思います。今日の試算で言うと、たかが5カ月、6カ月の違いとはいえ、子供にとっての5カ月、6カ月はとても長いものです。そのあたりも考えていただければと思います。

○久住委員長 そこは大事な視点として共有していければと思います。

資料については、土田アドバイザーからもいろいろご指摘をいただきましたので、もう少しわかりやすい、議論ができやすいものをおつくりする形を取っていただこうかと思います。ただ、改修にしても改築にしても、改築とした場合、何を大事にしていくのか、どういったところを継承するかということがあります。

今までの議論だと、廊下のアーチの部分と階段のイメージというのは、皆さんの中で強くご意見が出てきたので、そこなのだということ仮にでもここで決定いただくことができれば、そういった部分で少し作業もできて、皆さんにお示しする部分もできるのかなとは思っています。

この部分がいろいろ10人違ってきてしまうと、やはり作業をする上でも非常に膨大な資料をつくる形になりますし、多分、事務局としてはそれに対応するのは難しいと思います。あくまでもイメージの世界の中ですけれども、こういったものがこんな形で残ったらどうかというところもご提案できるのであれば、階段のイメージと廊下のアーチの2つを大事にしてほしいということであれば、この2つを意匠の中に加えていただくという部分について少しご意見をいただけると、次の作業に関してもありがた

いと思います。

○土田アドバイザー 今までの議論で、木の階段や廊下のアーチの部分に皆さんにはとても思い入れを持っていただいています、もちろん今は、学校が大量生産されていたときの学校とは明らかに趣を異にしています。

外観も、アール・デコとまではいかないにしても、かなり時代性を含む、当時の東京市の建築営繕の RC 建築としては、かなり先端的な部分のトライアルがされており、これは建築プロパーとしてマニアックな話で恐縮なのですが、地域の財産としても非常に価値があるというというのは、実は避けては通れないというのが正直なところです。

そして、今、日影規制ないしは道路車線の関係でこの両側が切られるという構造が、実は建築のファサードデザインみたいなものとしても本当に規制によって切られるだけで、残る価値があるのかどうかというようなことも正直、気にはなります。今ご指摘のあった内観の話もちろんですけども、少し外観等の話、もちろんそれが改修の是非論にもちょっと関係するかなと思いますし、改築のときのデザインのモチーフにしたボキャブラリーの、これは建築設計者の選定等々、これから作業の実際量の中で条件化されていく一つの要因・要素のような気がします。

その辺は私自身もちょっと不勉強なところもありますが、次回までに事務局さんのほうとも少し議論させていただいて、必要ならば、外部の協力者も若干得る中で資料をつくらせていただくということ、唐突ではございますが、ご提案させていただきますとありがたいと思います。いかがでしょうか。

○久住委員長 非常にお忙しい中で、事務局としては大変ありがたいご提案です。では、そういう形で、何もない中で皆さんにご意見をいただくというよりは、土田アドバイザーから等出たものということで、こことここはこんな感じがいいのではないかというようなところの話をすると。

○土田アドバイザー そうですね。どこまでイメージが伝えられるかはわかりませんが、議論としては、ということです。

○井上委員 すみません。内観の様相に関しては、私も特に異論はないです。外観のほうの話題がほとんど出ないという状況ですが、学校を運営していく立場から言わせていただくと、ぜひ外観にもこだわっていただけるとありがたいなと思うのです。

というのは、外から見た校舎のイメージというのは、私は、これからのとても大事な視点になるのではないかと思います。今のままでいいというのではなく、本当に子供たちと、これから入ってくるであろう、これから生まれてくるであろう子供たち、それから保護者の皆さんが、ああ、あの学校だったら入学させたいと思ってくださるような外観も必要だと感じるのです。ですから、内観も外観も本当に考えて提供していただけるとありがたいと思います。

○土田アドバイザー こちらの正面のほうは、この資料の中で PTA の関係者の方には大変申し訳ないのですが、表現が悪くて恐縮ですけども、バラックが、いかにせん街並みを壊していると同時に、学校の尊厳を、ここは刑務所か、と思うような様相を呈しています。大変失礼な話で恐縮ですけども、あれがなくなるだけでも、壁と外観と桜のセットの中で新しくかつ懐かしいイメージみたいなものができると勝手に妄想しているだけですけども、ご指摘のように外観も非常に大事であると思います。

○久住委員長 土田アドバイザーから、いろいろとそういったものも含めていろいろと皆さんにご呈示申し上げて、ご意見を次回いただけたらいいのかなというご提案をいただきました。

越川委員が長くここに住まれて、ここの卒業生ということも先ほど伺いましたので、いらっしゃる皆さんの中でそれに対しての参考的なご意見が追加でいただけるのであれば、私たちもゼロベースからというよりは、皆さんの思いをくんだような形で作業もできると思います。卒業生で、もし思

いがあれば、少しご発言いただけるとうれしいと思いますが、いかがでしょうか。

○越川委員 小学生のときは、確かに自分がこの学校に通っていたことに対してアーチなどへの思い出は、小学校のときは小学校に行くのが大変で、イメージはなかったのですが、実際に我が子が小学校に通うことになって、自分が大人になってこの学校に久しぶりに足を踏み入れたときに、ああ、この学校ってこんなにすてきだったのだ、という思いはとても強く感じました。

できれば、中のイメージは、今後代々、自分の子供や孫が通うようになったときも同じところに通ったのだという気持ちが続くような形で、残せるものは残していただいたら、私としてはありがたいです。ただ、先生方の授業のやりやすさなどのほうが大事なような気もしますし、いろいろ迷うところはたくさんあります。

○久住委員長 明正小学校も結構きれいなアーチが廊下に思い出というのか、つくってあったり、中のスタンドグラスも残してあったりして、この学校を大事にしてきた地域や関係者の皆さんの思いを受け継ぐようなデザインが随所にあったと思います。

○越川委員 それで質問があるのですが、改修や改築をするに当たって、例えばアーチを昔つくった形と全く同じように復元することというのは技術的に可能なのでしょうか。

○井上委員 つくり替えて全く同じイメージのものができれば、そういう選択肢もあるとは思いますが。

○マヌ都市建築研究所 イメージはできると思いますが、全く同じサイズ、状態に復元するのは非常に難しい気がします。

○久住委員長 いろいろと学校をご覧いただいたとき、僕も伺ったのですが、子供たちが安心感というのでしょうか、学校に抱かれているようなイメージを持つには、廊下の部分などのゆとりのスペースが広く取ってあるような設計にそれぞれの学校がなっているなと思いました。改築の場合、イメージを残していくことをしたときに、今の廊下の幅で本当にいいのかどうかということは議論したほうがいいのかと思います。

ただ、そのイメージを残すやり方というのは、いろいろと工夫の仕方があると思いますので、そういう意味で、記憶の中にあるどういうものを残していくのかということからは、土田アドバイザーからもご提案いただいた部分もあるので、そこは次回、皆さんの中にもう少しお示しする形だろうと思います。

完全に今のままを残すということが、これからの子供たちにとって学校生活をする上で、せっかかないものをつくろうとしたときに、それがいいのかどうかというのは、一方の視点として議論していく必要はあるのかなとは思いますが。そういうことも含めて、前提となるものをご確認いただく作業が非常に大事になってくると思います。

お約束をさせていただいている時間まであと5分ほどになってまいりましたが、今日はとてもいい議論ができたと思っています。次回に向けて私たちが作業をして、皆さんの議論に資するような資料、十分なものができるかどうか、相当努力が必要かとは思いますが、土田アドバイザーからもいろいろとアドバイスをいただいた部分もありますので、次回からご意見が出やすいような資料を作成して、ご意見をいただきながら、少しずつでも前に進めていければと思っています。

今回についてはこういう方向性でということでしたが、もう少し議論をしたほうがいいのかというご意見がありましたので、次回、その方向性を少し詰めていただきたいのと、それから、幼稚園部分をどうするのかという大事なご指摘もありましたので、その部分も含めて提案できればと思っています。

4 その他

○久住委員長 それでは、次回の日程等の確認を事務局のほうからさせていただいて、お開きとさせていただきますと思いますが、最後に皆さんのほうから何かその他のところでご意見等がございましたら、今までの1からの振り返りでも結構です。

○土屋委員 1つだけ確認したいのですが、改修と改築の図面ですと、地下というのは、給食室しか配置しないような設計になっていると思うのですが、地下は、これ以上は掘らない前提でのプランでしょうか。

○マヌ都市建築研究所板谷 地下はコストがいろいろかかりますので、一応、最小限に抑えて考えています。多分、PTA室とか、そういうところを含むなどという話を本当は加えなければいけないのだろうとは思っています。

○事務局藤田 一応50コマぐらい用意するという中にPTA室は入れてありますので、PTA室をどこに配置するか、それは今後設計の中の話なのですが、今言ったように、やはり地下はコストもかかるし時間もかかるということで、最低限にしたということです。

○澤井委員 地下に適するスペースは、本来、学校の中にはあまりないですし、地下に適する部分というのもそういう観点からも、学校の要素として、地下室に持っていけるものは何かということは考える必要はあると思います。

○久住委員長 子供たちが使う施設ということでは、採光や換気の問題上の制限条件から考えると、いろいろな特別教室を持っていくなどということはなかなか難しいというところがあるので、今、土屋委員からご指摘いただいたように、給食室を持っていくことがぎりぎりのところかということで入れてあると考えられます。

何かプラス意見があれば、ちょっと検討していただければと思います。

○土屋委員 高さ制限がある分、いわゆる地下でスペースを使えるといいかなというところでは。

○久住委員長 そうですね。それは確かに今までご指摘いただいたことは何か配慮していくことが大切ですね。

せっかくですので、4 その他のところで何かございますか。

よろしいでしょうか。では、事務局のほうから次回のことになります。

○事務局吉谷 ありがとうございます。では、次回の日程ですが、まだ決まっておられませんので、会場等、詳細について決まり次第、皆さま方にご案内させていただきたいと思います。ご都合の悪い場合は、またお知らせください。よろしくお祈りします。

○久住委員長 非常に大事な宿題とワーキングの、大変宿題としていただいたので、土田先生のご日程と、次回お示しできる宿題との関係で、大体ですが、どのくらいの時間が必要でしょうか。

○土田アドバイザー 1カ月だとちょっと厳しいですか。

○マヌ都市建築研究所板谷 きついです。

○久住委員長 2カ月は必要ですか。1カ月ちょっとあればいいですか。1カ月半ぐらい。

○土田アドバイザー 7月の半ばぐらいであれば大丈夫です。

○久住委員長 夏休みがすぐなので。

○溝畑委員 今年は17日が終業式です。夏休みは変わってないので、9月1日から2学期が始まります。

○久住委員長 では、大体ですが、次回については7月9日から17日ぐらいの幅をいただいた上でご通知をさせていただければと思っておりますので、このくらいにまた通知を、なるべく早めに先生との

関係も含めて日程調整し、ご通知申し上げるようにさせていただきます。

この辺で何かあれば配慮できればと思いますが、いかがでしょうか。

○辻本委員 幼稚園のほうで言うと、7月11日は夏祭りがあるので、10日を外していただくとありがたいです。

○久住委員長 なるほど。そうすると、13日の週ぐらいにということで、夏祭りを終えて、晴れ晴れとした気持ちで集まればと思います。また日程の中でお知らせ申し上げます。次回そのくらいの日程でご通知を差し上げる形になろうかと思しますので、ご承知置きいただければと思います。

では、貴重なご意見をいただき、次回にやることが明確になって良かったと思っております。また途中でもファクスや電話等でご意見をいただくことも可能ですので、今日、これを言っておけばよかったなというようなことがございましたら、気軽に事務局までご意見等をいただければ、ありがたく存じます。

閉会

○久住委員長 それでは、第6回明化小学校改築基本構想検討委員会については、これで閉じさせていただきます。今回はいろいろありがとうございました。

(20:20)